

75 卵巣癌における増殖、浸潤と Pyrimidine nucleoside phosphorylase との関連性について

順天堂大

橋本昌典、鈴木正明、白井直行、古堅善亮、野島美知夫、多和田哲雄、長沢 敢、山本 勉、橋本武次、三橋直樹、竹内久弥、桑原慶紀

〔目的〕 Pyrimidine nucleoside phosphorylase (PyNPase)活性は各種癌組織における腫瘍増殖能との関連性が報告されている。今回、卵巣癌における増殖、浸潤とPyNPase活性との関連性について検討した。〔方法〕対象は当科で初回根治手術を施行し組織学的に診断された卵巣癌40例 (stage I, II, III, IVそれぞれ16, 2, 18, 4例)である。PyNPase活性は組織から抽質したPyNPase粗酵素を5'-DFURを基質として生成された5-FU濃度 (nmol/mim/mg protein)から測定した。またc-erbB-2の発現は手術材料のパラフィン包埋切片を使用してABC法にて免疫染色をおこなった。〔成績〕卵巣癌部組織におけるPyNPase活性は75以上の高値群 (A群, n=11) とそれ以下の低値群 (B群, n=29) に分類された。A, B群の平均PyNPase活性はそれぞれ 167 ± 84 , 35.3 ± 13.8 であり非癌部正常組織の 17.6 ± 14.9 より有意 ($P < 0.01$) に高値であった。A群のstage別頻度はI~II期 2/18, III~IV期 9/22であり、その組織型別頻度は漿液性腺癌7/18, 粘液性腺癌0/14, 類内膜癌1/4, 明細胞腺癌2/3, 未分化癌1/1であった。また、漿液性腺癌のうち未分化な成分を含む6例中4例はA群であった。III~IV期の漿液性腺癌のうち傍大動脈節を含むリンパ節郭清を施行したA, B群におけるリンパ節転移の頻度と転移個数の平均はそれぞれ A群 5/6, 14.2 ± 9.2 B群3/6, 5.7 ± 6.4 であった。また、III~IV期症例のA (n=9), B (n=13) 群におけるc-erbB-2蛋白発現はそれぞれ44.4% (4/9), 15.3% (2/13)であった。〔結論〕卵巣癌組織中でもPyNPase活性が高値を示す例は進行例に多く、そのなかでも組織学的悪性度が高く、増殖、浸潤性の強いものであることが示唆された。

76 上皮性卵巣癌におけるFCM DNA量と FIGO進行期・リンパ節転移の関連性

滋賀医大

高橋 良樹, 竹中 章, 野田 洋一

〔目的〕上皮性卵巣癌におけるflow cytometric (FCM) DNA contentの生物学的意義について検討した。〔方法〕対象は41例の原発性上皮性卵巣癌で、化学療法前の開腹手術によって採取された145検体の新鮮凍結腫瘍組織のDNA contentsをFCMにて測定した。同一の原発卵巣腫瘍から3-10個の組織を採取しintratumoral DNAheterogeneityも検索した。同一腫瘍内で1個以上の組織でaneuploidyが検出された場合をaneuploid tumorとした。同一腫瘍内の複数の検体から,DI (DNA index)が0.15以上の差異を持つ異なった複数のaneuploid peaksが得られた場合をintratumoral DNA heterogeneityが存在すると定義した。DNA ploidy・DNA heterogeneityと組織学的所見・FIGO進行期・後腹膜リンパ節転移の関連性を検討した。〔成績〕組織学的所見・FIGO進行期・後腹膜リンパ節転移の間には有意な関連性は認めなかった。diploid tumorは8例(19.5%),aneuploid tumorは33例(80.5%)に認められた。FIGO進行期II期以上の例ではすべてがaneuploid tumorであった。DNAheterogeneityを有する例は20例(48.8%)であった。I期ではDNA heterogeneityを有する例は0.0%,II期は33.3%,III期65.5%,IV期85.7%であった。DNA aneuploidyはFIGO進行期・リンパ節転移とは有意な相関を認めなかったが、DNA heterogeneityはFIGO進行期・リンパ節転移とよく相関した。

〔結論〕同一腫瘍内の異なった部位から多くの腫瘍組織検体を採取し、FCM DNA contentsを測定する事によって、上皮性卵巣癌におけるDNA contentsの生物学的意義がより詳細に明らかになった。aneuploid tumorは大多数の早期卵巣癌に認められた。そして、上皮性卵巣癌におけるintratumoral DNA heterogeneityは、progressionと metastasis のpotentialを反映していると推察された。